

# 「小中校区を再検討」

## 美郷小通学の安全確保

### 小浜市学校再編計画

10月7日に就任した窪田光宏・小浜市教育長(60)が福井新聞のインタビュに応じた。窪田新教育長は2019年4月に開校する小浜美郷小や同市内の小学校再編計画について「通学の安全確保を最優先に、住民の願いを反映した新しい校風づくりを進める。再編計画は美郷小を先行事例として、中学校区との兼ね合いも含めた再検討をしていく」と語った。

(聞き手・前田卓)

### 窪田新教育長に聞く



学校再編計画などについて語る窪田教育長＝小浜市役所

―就任から1カ月弱、市の教育行政のトップに就いた心境は。これまで教員として小中の学校現場一筋だったので、教育行政ではより一層、幅広い視野が必要だと痛感している。

―市東部の国富、宮川、遠敷、松永の4小学校を統合して小浜美郷小が19年春に開校する。広域で4校が統合されるケースは県内でも珍しい。直面上の課題は。児童の半数以上が地区外通学で、距離2キロ以上はバス通学となるため、

―3月末まで遠敷小の校長を務め、美郷小開校準備にも携わってきた。伝統ある4校の校風をどう生かしていくか。4校それぞれに歴史と特性があるが、伝統ある学校行事をすべてを引き継ぐのは難しい。ただし学校は地域の文化的シンボル。各校の良さをどう

融合し新しい校風を築くのか開校準備委で検討し、住民の願いを生かす形になるよう促したい。

―市内の小学校を東西南北の4校に統合する再編計画は、東部を除き、棚上げ”となっている。もちろん少人数学校の良さはあるが、子どもの成長のためにはある程度の人数が必要だ。中学生の減少も進んでおり、中・高学も考慮した再編計画を、美郷小の開校後に再検討していく。美郷小は計画全体の重要な先行事例になる。

―北陸新幹線が全線開通すれば交流人口の増大が期待される一方、ストロ―現象による人口減少も危惧される。長い目でみた教育施策は。小浜の歴史、文化、食育、自然は大きな宝。ふ

育を通じ、子どもの頃から「まちづくり」を意識できる人づくりに重点を置きたい。

―県内では池田中で生徒が自殺する問題が起きた。どうリーダーシップを果たすか。特に学校の管理職は、問題を感じ取れる感覚と迅速な対応力が必要だ。私もできるだけ学校現場を回り、市教委が各校を支援できる環境をつくっていききたい。

児童の安全確保が最優先の課題だ。バスの順路や経費を速やかに精査する一方、台風や積雪時の対策も、地域や保護者と連携して体制を整えたい。

―市内の小学校を東西南北の4校に統合する再編計画は、東部を除き、棚上げ”となっている。

―県内では池田中で生徒が自殺する問題が起きた。どうリーダーシップを果たすか。